

教育DXレポート

ICT支援員導入で学校のDX・AX化を加速するために — 生成AI利活用を前提とした新たな学校業務の最適化 —

私立・公立学校ともにDXツールの導入は一般化し、学校のデジタル環境は大きく前進しました。生成AIについても、実証事業や研究授業を推進する学校も増えています。AIを活用した学びと校務の変革、いわゆる教育AX（AIトランスフォーメーション）の推進が次の学校の課題となっています。

その一方で、上記の過程においては新たな業務が急増し、ICT推進委員会や一部の教職員に負荷が集中してしまうケースが全国的に見られます。

特に、生成AIの普及に伴い、学校はAI利活用ポリシーの整備、データ管理、活用研修の企画、授業改善支援など、新領域の業務も対応する必要が出てきました。

このような状況の中で、これからの学校運営において鍵となるのがICT支援員の戦略的な活用です。

年度末・新年度の効果的なICT支援員活用

年度末・新年度には、ICT関連の業務が最も多く発生します。例として下記のような業務があります。

- ・学習ポータル（Classroom/Teams/Classi等）のデータ整理・新年度データ移行
- ・新入生アカウントの作成、端末初期設定と配布準備
- ・新入生向けICT・生成AIに関するオリエンテーション補助
- ・卒業生端末の設定・削除（Wi-Fi・セキュリティソフト等）
- ・各種マニュアルの更新

これらは教職員だけで対応すると業務過多になりやすく、結果として「DXツールを導入したのに負担が増えた」という状況に陥ることも少なくありません。

生成AI時代の学校がICT支援員に求める新たな役割

現在、学校現場では以下のようにAIを前提とした新しい業務が増えています。

- ・生成AI活用ルール作成（バイアス・著作権・個人情報の整理）

- ・生成AI利活用の教職員向け研修、生徒向けリテラシー研修
 - ・NotebookLM等を用いた校務マニュアルの共有・知識化
 - ・教材データ・学習ログのデータ管理、整理のサポート
 - ・生成AIを組み合わせた学びの設計支援
- これらの業務を学校と並走しながら実行する「伴走者」としてICT支援員の重要性が増しています。

ICT支援員活用で得られる3つのメリット

① 教職員の業務負担を大幅に削減

生成AIや各種DXツールは便利な反面、「導入・設定／アカウント管理／データ移行／問い合わせ対応」といった専門的タスクが必ず発生します。

ICT支援員がこれを担うことで教職員は、授業改善や教材研究など“人にしかできない業務”に集中できるようになります。

② 学校DX・AX化の推進力が高まる

文科省は2024年に生成AI活用ガイドラインを公開し、2025年以降は「AI環境整備」「AI活用前提の探究」などが加速するとしています。

- ・AIを用いた教材づくり、校務資料作成のサポート
- ・AIチューター/AIティーチングアシスタント活用

これらの支援を行うことで、学校全体のDXレベルが着実に向上します。

③ 校務の暗黙知を「共有知」に変え、属人化を防ぐ

生成AIと支援員を組み合わせ

- ・マニュアル整備補助
- ・校務手順のデータ化補助
- ・学内ナレッジベースの構築支援

などを行うことで、組織的な知識共有が進み、結果として、人の異動・退職に強い学校運営が可能になります。

コアネット教育総合研究所のICT支援員、生成AI利活用研修サービス

コアネット教育総合研究所では多くの学校でICT支援員業務を担当しており、生成AI・校務DXを含めた「学校DX全体」を見据えた支援が可能です。

学校の実情に合わせて柔軟にご支援できますので、ぜひ一度ご相談ください。



学校教員向け生成AI研修・生徒向け生成AI出張授業

これからの時代に必要な生成AIの基礎知識や効果的な生成AI活用方法を学校教員向け研修や、生徒向け出張授業の形式でわかりやすくお伝えします。

学校教員向け生成AI研修例

- ・学校教員が押さえておきたい生成AI基礎知識・リテラシー
- ・教育現場における生成AIの活用事例
- ・AI活用時代に求められる資質・能力とその育成方法 等



生徒向け生成AI出張授業内容例

- ・生成AIの基礎知識、生活の中にあるAI
- ・生成AIを活用するメリット、リスクと著作権等リテラシー
- ・生成AIの活用例と社会で必要なスキル
- ・実際に生成AIを体験する 等



内容・実施時間、費用はご要望に合わせて柔軟に対応可能です。詳しくはコアネット教育総合研究所までお問い合わせください。

ICT支援員・ICT活用アドバイザー・ICT活用教育支援員派遣

コアネット教育総合研究所では、教職員のICTに関する業務負担を軽減・効率化し、教育の「質」を高めるためのICT支援員等の派遣を行っています。

訪問型

必要な分だけサポートを行う業務で、月1日程度から対応可能。用途・費用に応じてご要望にお応えします。



利用期間・回数

- ・月1～4回の訪問や職員会議時などのミニ研修、夏休みなどの長期休暇にICT活用研修
- ・新入生の端末導入時など繁忙期には訪問回数増加可能

相談内容

- ・事例提供、ルールや端末の見直し相談
- ・活用研修のみの提供も可能

常駐型

終日常駐の支援員を派遣し、活用サポートから機器のトラブル対応まで、幅広いニーズに対応いたします。



勤務時間・期間

- ・週2～5日など目的や費用に応じて日数の設定可能
- ・常駐勤務で終日サポート対応

支援内容

- ・活用に関するサポートや、教員向け研修
- ・機器トラブルのサポートや学校端末の管理

お問い合わせはこちら

住所 〒224-0003
横浜市都筑区中川中央1-26-10

TEL 045-914-3005
(担当：岡田、川田、坂本)

E-mail info@core-net.net

ICT活用に役立つ情報公開中

URL www.core-net.net/ict/

教育と学校経営専門のシンクタンク&コンサルティング企業



コアネット教育総合研究所

